

問題 A

問 1. 間違っているものを選びなさい

1. 患者の栄養状態において他職種で把握、共有していることは、重要事項である。
2. 患者のBMIが16.5であった。特に介入や対策の必要はない。
3. 体重変化率において、6か月以内に10%以上の体重減少があれば有意の体重変化と判定される
4. 摂食嚥下障害と栄養障害は密接に関連しているため、専門分野のみならず、患者の全身状態において把握しておくことは重要である。

問 2. 唾液に関して誤りを選びなさい

1. 大唾液腺は顎下腺・耳下腺・舌下腺からなる
2. 水分が99.5%以上である
3. 口腔粘膜保護作用がある
4. 1日およそ0.3～0.5リットル分泌される
5. 初期のむし歯の修復に関与する

問 3. 経管栄養に関する次の記述のうち、最も適切なものを選びなさい

1. 栄養剤の栄養素は、胃から吸収される。
2. 栄養剤の注入速度が速いと、下痢を起こすことがある
3. 経管栄養によって、口腔内の細菌は減少する。
4. 経管栄養で、誤嚥を起こすことはない
5. 食道への栄養剤の逆流が生じることはない

問 4. 二次性サルコペニアに関して誤っているものを2つ選びなさい。

1. 脳卒中・誤嚥性肺炎などによって生じる
2. 栄養関連サルコペニアは飢餓で生じる
3. 加齢以外の原因がないサルコペニアのことをいう
4. 活動関連サルコペニアは不要な安静臥床で生じる
5. 二次性サルコペニアでは筋力低下は生じない

問 5. サルコペニアの嚥下障害に関して正しいものを選びなさい

1. 嚥下筋のみにサルコペニアがみられる
2. 明らかな摂食嚥下障害の原因疾患がある
3. 栄養摂取と活動性向上で改善できる可能性がある
4. 診断には握力や歩行速度は含まれない
5. 改善には出来るだけ早期に経口摂取を開始する必要がある

問題 A

問 6. 介護保険についての記述のうち、正しいものを選びなさい

1. 要介護度の区分は、要支援が3段階、要介護が5段階である
2. 要介護・要支援の原因の第一位は、老衰である
3. 2012年から地域支援事業が開始された
4. 地域支援事業は、各自治体(市町村)が主体である
5. 基本チェックリストの記載は医師が行わなければならない

問 7. 地域包括ケアシステムに関する記述のうち正しいものを選びなさい

1. 住まい・医療・介護・予防・生活支援の専門家が独立してサービス提供する
2. 医療・介護の連携強化を目的に、生活支援コーディネーターが派遣される
3. おおむね1時間以内に必要なサービスが提供できる生活圏域を単位として想定している
4. 地域包括ケア会議を通して地域の課題を発見し、政策形成につなげることができる
5. 地域住民の主体性は求められていない

問 8. 一次予防、二次予防、三次予防のうち、二次予防に関する記述はどれか選びなさい

1. 転倒により骨折したために、病院でリハビリテーションを受ける
2. 肺炎予防のために予防接種を受ける
3. 健康増進のために週に3回ウォーキングを行う
4. フレイルの早期発見の検査を受けて該当したため介護予防教室に通う
5. 介護保険の認定を受けてデイケアに通う

問 9. 地域包括ケアシステムの推進について間違っているものを選びなさい

1. 医療ニーズから介護ニーズのみの対応を推進
2. 認知症の人への対応の強化を推進
3. 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進
4. ケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保
5. 口腔衛生管理の充実と栄養改善の取り組みの推進

問 10. 次のうち、認知症を引き起こすことがないものを選びなさい

1. 梅毒スピロヘータ
2. 疥癬虫
3. プリオン蛋白
4. 単純ヘルペスウイルス
5. ヒト免疫不全ウイルス(HIV)

問題 A

問 11. 次のスクリーニング検査の感度と特異度の正しい組み合わせを選びなさい

	疾患あり	疾患なし
検査陽性	160	30
検査陰性	40	170

(単位:人)

1. 感度20.0%・特異度15.0%
2. 感度84.2%・特異度81.0%
3. 感度80.0%・特異度85.0%
4. 感度85.0%・特異度80.0%
5. 感度40.0%・特異度56.7%

問 12. 「智(知)の脳」といわれ、短時間の記憶保持に関与している脳の部位はどこかを選びなさい

1. 乳頭体
2. 松果体
3. 扁桃核
4. 海馬
5. 大脳基底核

問 13. 大脳の味覚中枢はどこかを選びなさい

1. 海馬
2. 島皮質
3. 小脳歯状核
4. 後頭葉
5. 黒質

問 14. これまでの研究で、アルツハイマー型認知症の発症を抑制する確実な方法は今のないが、発症のリスクを少しでも減らすことができると有望視されている方法はどれかを選びなさい

1. アルコール飲料は脳機能を活性化するので高齢者には勧められる
2. 血圧を150mmHg付近に保つ
3. 中高年世代は身長体重比(BMI)を20以下にするほうが良い
4. 週に2~3回、30分ほど早歩きす
5. 座禅を組んで瞑想にふける

問題 A

問 15. 下記の薬剤(カッコ内は商品名)の中で、現在我が国の医療保険でアルツハイマー型認知症に正式には適応がない薬剤はどれか選りなさい

1. ガランタミン(商品名レミニール)
2. リスペリドン(商品名リスパダール)
3. ドネペジル(商品名アリセプト)
4. メマンチン(商品名メモリー)
5. リバスタチグミン貼付剤(商品名イクセロン・パッチ)

問 16. 正しいものを選びなさい

1. 気管の長さは約20cmである。
2. 気管支と気管軸のなす角は右より左で大きい。
3. 右肺は2葉からなる。
4. 肺葉は12の肺区域に分けられる。
5. 肺胞で取り込まれた酸素は肺動脈で運び出される。

問 17. 誤嚥性肺炎を予防するための対応方法として誤っているものを選びなさい

1. 食事場面において、嚥下機能・食形態・食べ方・量をチェックする
2. 嚥下機能に影響する薬剤を服用していないか把握する。
3. 口腔ケアを就寝前にのみ行う。
4. 全身運動や口腔の運動を行い、日中の活動性を改善する

問 18. 次の文章で間違っているものを選びなさい

1. 咀嚼することで脳血流量が増加する
2. 食事の色、味、食感などを感じることで脳の活性化に繋がる
3. 会話を楽しみながら食事をすることで、より多くの神経ネットワークが働く
4. 経口摂取は経管栄養と比較し消化吸収が劣る
5. 食事は栄養摂取以外にも、文化や風土、季節などを感じる要因となる

問 19. 正しいものを選びなさい

1. 低栄養だと脳卒中の嚥下障害から回復しづらい
2. 経管栄養患者は強制栄養なのでモニタリングはしなくよい
3. 摂食嚥下障害者は排便の調整は特に必要ない
4. 誤嚥性肺炎を発症した場合とりあえず禁食にすることが重要である
5. 在宅療養している高齢者の8割は栄養状態良好である

問題 A

問 20. 脳卒中とそのリハビリテーションに関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、組み合わせとして正しいものを選びなさい

- a. 脳卒中後の鬱状態は、ADLの改善の阻害因子となる
- b. 運動療法は継続することが重要なので、安静時の脈拍120/分以上でも実施する
- c. 失語症は重度であっても身体障害者手帳の交付対象とならない
- d. 回復期リハビリテーション病棟の適応は、脳卒中発症後2か月以内である

- 1. a. ○ b. ○ c. ○ d. ×
- 2. a. ○ b. ○ c. × d. ○
- 3. a. ○ b. × c. × d. ○
- 4. a. × b. ○ c. ○ d. ×
- 5. a. × b. × c. ○ d. ○

問 21. 通常体重50kgだったA子さんは、食事が入らなくなり体重が46kgに減少しました。A子さんの体重減少率は何%ですか？

- 1. 5%
- 2. 6%
- 3. 7%
- 4. 8%
- 5. 9%

問 22. 呼吸困難とはどれを指すか？

- 1. 脈拍数の増加
- 2. 息苦しさの自覚
- 3. 動脈血酸素分圧(PaO₂)の低下
- 4. 経皮的動脈血酸素分圧(SpO₂)の低下

問 23. 呼吸困難があるときの患者の安楽な体位は？

- 1. 起座位
- 2. 行臥位
- 3. 碎石位
- 4. 骨盤高位